

授業科目 NO. 805 助産診断技術学Ⅱ（分娩期）

Midwifery Diagnosis and Skills II (Delivery Period)

授業の形態： 講義

単位数（時間） 2単位（30時間）

数）：

開講年次・学期： 4年次・前期

必修・選択の別： 選択・助産師選択コース必修

キーワード： 分娩の4要素、助産診断、助産ケア

1 金沢医科大学看護学部の到達目標（全科目共通です）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学 修 目 標

1) 一般目標（GIO）

正常分娩のプロセスを理解し、分娩期における母子の健康状態を適切に診断できる力を養い、正常経過を促進するための基本的な助産診断・助産技術、助産過程の展開を学ぶ。また、産婦と家族の主体的な取り組みを尊重した出産の在り方を理解するとともに、分娩の異常を早期発見し、緊急時に適切に対応できるための基本的知識を修得する。

2) 行動目標（SBO）※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) 分娩の4要素について理解し、分娩4要素が分娩の機序に及ぼす影響について説明できる。(②)
- (2) 分娩各期における母子の健康状態を診断し、その診断に基づいた助産ケアについて実践できる。(①②)
- (3) 分娩各期における産痛緩和について、エビデンスを基に説明することが出来る。(①②)
- (4) 分娩期における正常経過逸脱の予測に必要な診断技術及び予防的視点とそのケアの必要性について説明できる。(①②)
- (5) 産婦と家族の価値観や文化的背景を尊重し、意思決定を支援する助産ケアを実践できる。(①②)
- (6) 分娩期における緊急事態の初期対応について説明できる。(①②)
- (7) 保健医療チームの一員として、多職種と連携・協働し、助産師の役を説明できる。(②③)
- (8) 硬膜外麻酔分娩の産婦に対する助産ケアについて説明できる。(②③)

3 学 修 内 容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評価

評価項目	評価割合
定期試験成績	80%
実習成績	
レポート	
授業態度	
小テスト	20%
口頭試問	
その他	
合計	100%

(特記事項)

5 教育担当者

科目責任者：三反崎 宏美

准 教 授 山崎 智里（母性看護学・助産学）
講 師 三反崎 宏美（母性看護学・助産学）

6 教育担当者の実務経験

担当教員は看護師・助産師として周産期医療機関での実務経験を有している。

7 教科書

- 1) 我部山キヨ子、藤井知行（編）：助産学講座 7 助産診断・技術学Ⅱ〔2〕分娩期・産褥期、医学書院
- 2) 佐々木くみ子（編）：助産師基礎教育テキスト 2026 年度版 第 5 巻 分娩期の診断とケア、日本看護協会出版会
- 3) 福井トシ子：助産師業務要覧 第 4 版 2026 年度版Ⅱ実践編、日本看護協会出版会

8 推薦参考書

- 1) 北川眞理子、眞鍋えみ子（編）：今日の助産 マタニティサイクルの助産診断・実践過程、第 5 版、南江堂
- 2) 小林康江（編）：助産師基礎教育テキスト 第 7 巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア、日本看護協会出版会法人
- 3) 日本産科婦人科学会、公益社団法人 日本産婦人科医会（編）：産婦人科診療ガイドライン 産科編 2023
- 4) 片岡弥恵子他（編）：ビデンスに基づく助産ガイドラインー妊娠期・分娩期・産褥期 2024 第 38 巻別冊 1 号、2024 年 11 月、日本助産学会
- 5) 厚生労働科学研究：研究班 快適で安全な妊娠出産のためのガイドライン 2013
- 6) 病気が見える Vol.10 産科、Medic Media
- 7) 我部山キヨ子、大石時子（編）：アセスメント力を磨く 助産師のためのフィジカルイグザミネーション 第 2 版、医学書院
- 8) 進純郎他（著）：正常分娩の助産術ートラブルへの対応と会陰裂傷縫合、医学書院
- 9) 中井章人（著）：図説 CTG テキスト アドバンス-助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)® レベル III 更新必須研修対応テキスト、メジカルビュー社
- 10) 中井章人（著）：図説 CTG テキスト-助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)®レベル III 認証 CTG 必須研修対応テキスト、メジカルビュー社
- 11) 藤森敬也（著）：改訂 4 版 胎児心拍数モニタリング講座：大事なサインを見逃さない！メデिका出版
- 12) 平澤 美恵子他（監修）：新訂版写真でわかる助産技術アドバンス、インターメディカ

9 準備学修に必要な時間及び具体的な学習内容

- 1) 授業1コマにつき、事前学修・事後学修として計180分程度必要である。
- 2) 事後学修は、授業時配布資料の内容を教科書、推薦参考書等を用いてより深く学修し、助産実践につながるよう幅広く正確にノートに記載しておくこと。また、授業で提示する課題についてもノートに記載しておくこと。
- 3) 分娩期の診断及び助産実践に必要な知識について、
 - ・公益社団法人 日本産科婦人科学会、公益社団法人 日本産婦人科医会(編)：産婦人科診療ガイドライン 産科編 2023 (https://www.jsog.or.jp/activity/pdf/gl_sanka_2023.pdf)
 - ・エビデンスに基づく助産ガイドライン—妊娠期・分娩期・産褥期 2024 (https://www.jyosan.jp/uploads/files/journal/JAMguigeline_2021_citizens_QA/jam_guideline2024.pdf)にアクセスして、コンセンサスが得られた適正な標準的助産診断・管理法を理解し、ノートにまとめておくこと。

10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

小テストについては、授業の中で解説する。

11 履修上の注意事項

- 1) 教科書・配布資料は、毎回持参すること。
- 2) 授業内容に関する質問等は積極的に行う。また、授業中における意見等の発言は積極的に行い、学修内容を深めること。

12 オフィスアワー等

随時訪問可だが、事前に都合の確認をすることが望ましい。

三反崎 E-mail : mitasaki@kanazawa-med.ac.jp

山崎 E-mail : chisasa@kanazawa-med.ac.jp

第4学年

助産診断技術学Ⅱ（分娩期）

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
前	1	4月03日（金）	3	講義	分娩の4要素:娩出力、娩出力の異常と助産ケア		母性看護学・助産学	三反崎講師
前	2	4月03日（金）	4	講義	分娩の4要素:産道、産道の異常と助産ケア		母性看護学・助産学	三反崎講師
前	3	4月07日（火）	1	講義	分娩の4要素:娩出物、娩出物の異常と助産ケア、		母性看護学・助産学	三反崎講師
前	4	4月07日（火）	2	講義	分娩の4要素:胎児・付属物		母性看護学・助産学	三反崎講師
前	5	4月09日（木）	1	講義	分娩の4要素:産婦の心理とケア		母性看護学・助産学	三反崎講師
前	6	4月09日（木）	2	講義	分娩の4要素:エビデンスに基づく産痛緩和、安全安楽を優先した助産ケア	小テスト	母性看護学・助産学	三反崎講師
前	7	4月14日（火）	1	講義	分娩の4要素と分娩経過、CTG所見と胎児の健康状態		母性看護学・助産学	三反崎講師
前	8	4月14日（火）	2	講義	産婦の文化的背景、価値観の尊重と意思決定支援		母性看護学・助産学	三反崎講師
前	9	4月16日（木）	1	講義	分娩開始の診断・初期診断		母性看護学・助産学	三反崎講師
前	10	4月16日（木）	2	講義	分娩第1期の診断・アセスメント、分娩期の記録(バルトグラム)の書き方		母性看護学・助産学	三反崎講師
前	11	4月21日（火）	1	講義	分娩第2期の分娩体位・会陰保護		母性看護学・助産学	山崎准教授
前	12	4月21日（火）	2	講義	分娩期における出血時の対応		母性看護学・助産学	山崎准教授
前	13	4月28日（火）	1	講義	分娩第3・4期の診断・アセスメントとケア 胎盤付属物の精査と計測		母性看護学・助産学	山崎准教授
前	14	4月28日（火）	2	講義	硬膜外麻酔分娩時における助産師のケア		母性看護学・助産学	山崎准教授
前	15	5月26日（火）	1	講義	分娩時の助産診断の立案、計画、修正診断(評価)	小テスト	母性看護学・助産学	三反崎講師
前		6月05日（金）	2	試験	定期試験		母性看護学・助産学	三反崎講師